

2009年5月11日

当社組織改正について

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、7月21日付でカンパニーおよび管理部門の一部について組織改正を行いますので、お知らせします。

1. カンパニー組織再編

現在のカンパニー制は2002年の導入以降、地域を越えたグローバル一体運営体制が強化され、地域間のコミュニケーションや技術の交流等で大きな成果がありました。

しかし、この厳しい事業環境の中、より高い競争力と効率性を実現するため、本年1月1日付で新設したガラスセクター長、電子セクター長を中心に新たな組織体制を検討した結果、次の通り組織を再編することとしました。

(1) ガラスカンパニー

建築用、産業用、太陽電池用ガラスを生産、販売する現板ガラスカンパニーと、自動車用ガラスを生産、販売する現自動車ガラスカンパニーを統合し、新たに「ガラスカンパニー」を設置します。ベルギー（ブリュッセル）に本部を設置し、日本（日本・アジア本部）、ベルギー（欧州本部）、アメリカ（北米本部）には地域本部を設置して、グローバル戦略のもと各地域のお客様のご要求に、タイムリーにお応えできる体制を構築します。

ガラスカンパニーでは、原料から最終製品まで一貫した体制で開発・製造を行うことにより、生産性、品質の向上を進め、またそれぞれの分野でこれまで培ってきた素材製造技術と加工技術を相互に活かし、これまで以上に早いスピードで高機能製品を生み出すことを狙います。

さらに、経営方針 *Grow Beyond* の重要な柱である「第2のグローバルイゼーション」、「地球温暖化問題に技術力で貢献」を追求していくために、今後急速な成長が予想される太陽電池や、新興国進出などの施策に、人員の再配置、設備の転換によって得られる経営資源を振り向けます。

取り扱い製品：建築用ガラス、自動車用ガラス、産業用ガラス、太陽電池用ガラス

(2) 電子カンパニー

フラットパネルディスプレイ用ガラス基板を生産、販売する現ディスプレイカンパニーと、半導体製造プロセス用部材、ディスプレイ用部材、光学部材等を生産、販売する現エレクトロニクス&エネルギー事業本部を統合し、新たに「電子カンパニー」を設置します。

エレクトロニクス&エネルギー事業本部は、グループビジョン *"Look Beyond"* における第3の柱として育成すべく2005年に設置され、以後、新製品を開発し、商品化してきました。同事業本部が持つ開発力、商品化技術とディスプレイカンパニーが持つ高い量産化技術を統合し、新事業の創出とそれに係る生産技術の確立を目指します。

また、経営方針**Grow Beyond**の重要な柱の一つである「ガラス技術立社」を追求していくために、それぞれの分野で保有しているコアとなる基盤技術を融合し、これらを組み合わせ、改善することによって、差別化技術を生み出します。これにより、従来以上に市場のニーズに合った製品をタイムリーにご提供できる体制を構築します。

取り扱い製品：液晶用ガラス基板、PDP用ガラス基板、ライティング部材、PDP用光学フィルター、半導体製造プロセス用部材（合成石英、SiC、CMPスラリー）、ガラスフリット・ペースト、光学部材、マイクロガラスレンズ、HDD用ガラス基板、耐熱ガラス食器等

2. 管理部門組織再編

(1) 経理・財務室

現在の財務企画室と経理センターを統合し、新たに「経理・財務室」を設置します。

(2) 人事・総務室

現在のグループ人事企画室と総務人事センターを統合し、新たに「人事・総務室」を設置します。

(3) モノづくり・人づくり推進室

現在のモノづくり技術強化室の研修部門を強化し、新たに「モノづくり・人づくり推進室」として再構築します。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC** 旭硝子（株）広報・IR室長 上田 敏裕
（担当：菊池 徹太郎 TEL：03-3218-5509 E-mail：info-pr@agc.co.jp）